

R5年2月 北陸高収益サロンVol.2  
～田んぼでカセグ～

# 北陸での水田高収益チャレンジ

(高収益サロンを開くキッカケとなったこと)

# 国内・北陸の農業産出額(2001~2020) はどうか①

直近20年間の国内農業産出額は8.9兆円で横ばい。  
しかし、コメの生産額は減少一途の傾向。

## ■ 全国農業産出額の主要品目内訳

コメ	2.2兆円	⇒	1.6兆円	(▲28%)
畜産	2.4兆円	⇒	3.2兆円	(+30%)
野菜	2.1兆円	⇒	2.3兆円	(+10%)

一方で、同時期の北陸4県の農業産出額は、  
マイナス20% (5.1千億円→4.1千億円)

## ■ 北陸4県農業産出額 5,147億⇒4,141億 (▲20%)

うち、主要品目内訳

コメ	3,349億円	⇒	2,502億円	(▲25%)
畜産	692億円	⇒	695億円	(+0.4%)
野菜	527億円	⇒	556億円	(+6%)

✓ コメのマイナス分がそのまま産出総額の縮小に直結

# 北陸4県農業の特徴

- 北陸4県の耕地面積の**90%**は水田  
(全国の耕地面積の水田比率は、54%)
- 北陸4県の排水不良田比率は、**41%**  
(全国の排水不良田比率は、38%)
- 北陸4県の法人経営体は、10年前に比べ**40%増加**。  
半数は、10ha以上の水田経営を行うなど大型化。

- 北陸農業の中心は**コメ**
- 近年の担い手不足により、農地が法人・集落営農組織に集約され、農業経営体の機械化が進行。
- 野菜等の栽培では、園芸栽培経験がない、冬季の降雪等気象条件や水田排水が良くない、収穫・選果などの労働力がない、との理由でコメ以外の作物に移行するキッカケ/動機は強くなかった。

# 他地域の農業産出額(2001~2020) はどうか②

気象・土壌・コメ主体の生産で他県の状況を見てみると、コメの生産額減は、カバーされていた

■ 秋田県の農業産出額 2,048億 ⇒ 1,898億 (▲7%)

✓ うち、主要品目内訳

コメ 1,291億円 ⇒ 1,078億円 (▲16%)

畜産 267億円 ⇒ 365億円 (+ 37%)

野菜 278億円 ⇒ 301億円 (+ 8%)

■ 山形県の農業産出額 2,323億 ⇒ 2,508億 (+8%)

✓ うち、主要品目内訳

コメ 1,004億円 ⇒ 837億円 (▲17%)

果樹 514億円 ⇒ 729億円 (+ 42%)

野菜 352億円 ⇒ 465億円 (+ 32%)

➤ コメのマイナス分を畜産、果樹、野菜でカバーしている

## 北陸4県17市場のデータから見えてきたこと

- 北陸4県の家計支出の食料品支出額は、近年ほぼ横ばい。  
(但し、市場取扱額は▲22%と減少傾向)
- 北陸産野菜の北陸地域内販売シェアは、一部の野菜を除き3～20%前後で、残りはすべて他県産。
  - 枝豆、里いも、白ネギの域内出荷シェアはかなり高い
  - トマト、葉物は10%台、たまねぎ・ばれいしょは3～8%台

### 二つの疑問

北陸で野菜生産量と供給量は、増やせないのか？  
スーパー、量販店は北陸産野菜を求めているのか？